



札幌生まれで、現在町内でダイビングインストラクターをする佐藤凡子さんに、話を聞きました。

佐藤 ^{なみ こ} 凡子さん
(南町)

海中の魅力を広めたい

私は子どものころから、海の中へのあこがれを強く抱いていました。そんな私が大学生になって初めてスキューバダイビングを体験。間近で見られる魚たちに興奮し、海中の魅力を知りました。そして、ダイビングを普及させる仕事に就こうとインストラクターの資格を取得し、大学卒業後は札幌市内のダイビングショップに就職しました。

その後、仙台支店に赴任。当時、県内で唯一ダイビングができた女川で三陸の生き物に感激しました。機会を得て潜水した志津川湾は、それ以上で、海中生物に必要な藻場が多く、良い生態系が見られ、潮の流れに揺れる海藻は「海のゆりかご」のようです。志津川湾が大好きになりました。

ところで、私が務めていた札幌や仙台の店は、都市部にあり、ダイビングスポットと離れているため、ダイバーが安全に楽しめるように現地サービス店が必要と感じていました。そんな時、夫と出会い南三陸町に移り住み、志津川湾にダイビングスポットと現地サービス店をオープンする願いが叶いました。

ここは海中生物の楽園です。クチバシカジカが見られるんですよ！ 私は、海中生物の観察を続けながら、全国のダイバーに南三陸の魅力を広めていきたいと思っています。



南三陸町は絶好のダイビングスポット

志津川湾内に浮かぶ椿島付近の海域には、東北で数カ所しかないスキューバダイビングのスポットがあります。

ここは、潮の流れが穏やかで透明度が高く、容易に生物が見つけれ、また四季の変化が少ない南洋と違って季節毎に異なる海中が見られることから初心者はもちろん、経験豊富なダイバーにも好評で、平成17年1月の開設以来とても人気のある場所です。

海中の魅力だけでなく、地域との連携、安全体制などが整備されていることでも注目を集めています。安全な海洋レジャーを普及させることで、自然保護思想の普及と観光振興を図ろうと、町と漁業協同組合、町内のダイビングショップの3者が話し合い「志津川地区スキューバ・ダイビング安全対策協議会」を設立しました。このように、官民が一体となったダイビング事業への取り組みは、東北ではこれが初めてです。

魅力いっぱいの地元の海をもっと知ってもらおうと、今月号から裏表紙で、海の生き物を紹介していきます。撮影と解説は、ダイビングサービス「グラント・スカルピン」代表で水中カメラマンの佐藤長明さんです。

●みんなの掲示板

志津川高校文化祭 『旭ヶ浦祭』



志津川高校では毎年恒例の旭ヶ浦祭を開催します。市街地の仮装パレードや、文化部の活動発表、ステージ発表、クラス出店などを行います。皆様のご来場をお待ちしております。



市街地を仮装行列

◇問い合わせ

宮城県志津川高等学校 旭ヶ浦祭 担当 ☎46-3643

▶▶▶▶ プログラム ◀◀◀◀

9月1日(金)

仮装行列 午後1時30分～3時

(コース)

クボホームセンター前→志津川駅前→志津川郵便局前→松原公園前→高茂商店前→五日町商店街→宮城商店前→志津川駅前

※仮装行列は、町内の皆様に採点の協力をお願いいたします。様々な仮装をしている志高生をぜひご覧ください。

9月2日(土)

一般公開 午前9時30分～午後2時30分

文化部の作品発表 (茶華道部によるお茶会・商業クラブによるカレンダー作成など)

委員会・中高一貫 (生徒会執行部による学校紹介・連携四中学校の作品展示など)

クラス出店 (かき氷屋・お化け屋敷・駄菓子屋・喫茶店など)

ステージ発表 (軽音楽部・有志バンド・カラオケ大会・男装女装コンテストなど)